



西部包括イメージ
キャラクター

西部包括新聞

7月号

令和8年7月号
(第47号・隔月発行)
発行:塩竈市西部地区地域
包括支援センター
塩竈市清水沢1丁目12-2
電話:022(367)0414
FAX:022(349)9763

地域活動のご紹介

第2層協議体

今年度2回目の2層協議体を開催しました。メンバーの入れ替わりがあったので、改めて協議体についての確認と地域の情報交換を行い、今年度は「防災」の視点で話を進めていくこととしました。

地域には、高齢者、乳幼児、妊婦さん、障害を持った方も生活しており、自然災害や人為災害などは、誰にでも起こり得るものです。

「防災・減災」について、一緒に考えてみませんか。



西部包括 7月・8月の予定

《昔語りの会》

7月16日(木) 14:00~15:00

「七夕飾り作り」

8月20日(木) 14:00~15:00

「脳トレゲーム、方言かるた」

《認知症サポーター養成講座》



認知症を知り、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのため、「認知症サポーター」になりませんか？

内容は、認知症についての知識、認知症の予防、認知症の方への対応など約90分の講座となります。町内会で、サークルで、ご近所の仲良しグループなどで、ご希望の日程で調整いたしますので、受講希望の方は、西部地区地域包括支援センターまでご連絡ください。

チーム オレンジ

認知症サポーターがチームを組み、認知症の人やその家族への早期からの支援等を行う取り組み「チームオレンジ」が塩竈市でスタートしました。

次号では、塩竈市最初のチーム、玉川の「お元氣会」をご紹介します。

～認知症について知ろう～

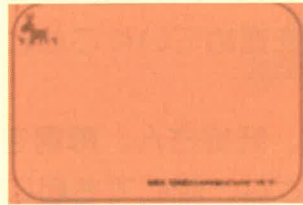
認知症の人の声を届けよう

オレンジボイスと題して、認知症の方やご家族の方の声を聞くための、メッセージカード・回収箱を設置しています。住み慣れた地域で暮らし続けるために、みなさんの思いを発信してみませんか？

☆メッセージカード・回収箱設置場所

- ・各地域包括支援センター
- ・塩竈市役所本庁、毫番館庁舎
- ・公民館、ふれあいエス7塩釜

※メッセージカードの最終回収日
は 8/10の予定です。



詳しく知りたい方や興味のある方は、お気軽に包括支援センターまでお問合せ下さい。

社会福祉士・認知症地域支援推進員 佐藤 帆乃佳

みんなの福祉コーナー ～防犯を考える～



闇バイトに関わる強盗事件が相次ぎ、自宅の防犯対策を見直す動きが出ています。

強盗が下見で確認するのは、「犯行のしやすさ」「逃げやすさ」です。「トイレを貸して」「あいさつ回り」と言って訪問する不審者情報もあります。住宅を狙った強盗や泥棒が下見をしているかもしれません。注意が必要です。

<ポイント>

来訪者にはすぐにドアを開けないでインターホンやドアスコープで相手を確認する。

知らない相手を家に入れたり個人情報を伝えない。

家にいる時も玄関や窓に鍵、チェーンロックを忘れずにかける。

下見をしている泥棒は、あいさつされたり、声をかけられたりすると、顔をおぼえられたと思い犯行をあきらめることもあります。不審な人物が歩いているのを見かけたらすぐに通報してください。



※バックナンバーをご希望の方は西部包括支援センターまでご連絡ください。

社会福祉士 伊藤 信子